

令和6年度(2024年度)用

小学校国語科用

「新編 新しい国語」
年間指導計画作成資料
【2年】

令和5年(2023年)7月版

※単元ごとの配当時数、主な学習活動、評価規準などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

「新編 新しい国語」（第2学年）年間指導計画

■「評価の観点及びその趣旨」、「学年別の評価の観点の趣旨」の作成について

単元の指導計画・評価計画の作成に当たっては、各学校の実態に応じて目標に準拠した評価を行うために、学習指導要領に示された教科の目標を踏まえた「評価の観点及びその趣旨」と、学年の目標を踏まえた「学年別の観点の趣旨」を作成します。

なお「主体的に学習に取り組む態度」の観点は、教科および学年の目標の(3)のうち、観点別学習状況の評価を通じて見取る部分その内容として整理し、作成します。

小学校国語科の目標と「評価の観点及びその趣旨」

小学校学習指導要領 第2章 第1節 国語 「第1 目標」

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)	(2)	(3)
日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。	言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

評価の観点及びその趣旨 <小学校 国語>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりしながら、言葉がもつよさを認識しようとしているとともに、言語感覚を養い、言葉をよりよく使おうとしている。

第1学年及び第2学年の目標と「評価の観点の趣旨」

小学校学習指導要領 第2章 第1節 国語「第2 各学年の目標及び内容〔第1学年及び第2学年〕 1 目標」

(1)	(2)	(3)
日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。	言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

評価の観点の趣旨 <小学校 国語>第1学年及び第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもっている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えをもったりしながら、言葉がもつよさを感じようとしているとともに、楽しんで読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。

■評価規準

【知・技】…「知識・技能」の観点および学習指導要領との対応

【思・判・表】…「思考・判断・表現」の観点および学習指導要領との対応

【主】…「主体的に学習に取り組む態度」の観点

※◎は、重点指導事項に対応する評価規準を示す。

※学習指導要領との対応に示した記号は以下の通り。（「◇言語活動」においても同様）

〔知識及び技能〕(1)…言葉の特徴や使い方に関する事項 (2)…情報の扱い方に関する事項 (3)…我が国の言語文化に関する事項

〔思考力・表現力・判断力等〕A…話すこと・聞くこと B…書くこと C…読むこと

単元の指導計画・評価計画案

2年

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
4	<p>はなしたい、ききたい、すきなこと</p> <p>2時間(話聞2) 教科書:上巻 P.12～13</p> <hr/> <p>既習事項との関連 話を楽しくつなぐ(1下「なにに見えるかな」)</p>	<p>●互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて、話をつなぐことができる。 ◇対話をする。A(2)イ</p> <hr/> <p>1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 好きなことについて友達と話す。 3 学んだことを振り返り、これからの学習に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】 ・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。(1)ア</p> <p>【思・判・表】 ◎「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつないでいる。A(1)オ</p> <p>【主】 ・進んで互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなげながら、学習の見通しを持って対話をしようとしている。</p>	
4	<p>お話を音読しよう 風のゆうびん屋さん</p> <p>10時間(読10) 教科書:上巻 P.14～24</p> <p>【言葉の力】 お話を確かめながら音読する</p> <hr/> <p>既習事項との関連 だれがどんなことをしたかをたしかめる。(1年「サラダでげんき」)</p>	<p>●人物の様子が伝わるように、物語を音読することができる。 ◇物語を音読する。C(2)イ</p> <hr/> <p>見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。</p> <p>取り組む 2 「風のゆうびん屋さん」を読み、どんな物語か確かめる。 3 様子を思い浮かべながら音読する。 4 音読を聞き合う。</p> <p>振り返る 5 人物の様子が伝わるように、どのようなことに気をつけて音読したかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】 ・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(1)ク</p> <p>【思・判・表】 ◎「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。C(1)イ ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。C(1)エ</p> <p>【主】 ・進んで物語の内容を確かめ、学習の見通しを持って物語を音読しようとしている。</p>	<p>・人物がどんな話し方をするか思い浮かべて、物語を楽しむ。</p>
4	<p>かん字をつかおう 1</p> <p>1時間(書1) 教科書:上巻 P.25</p>	<p>●1年生で習った漢字を使って、文を書くことができる。 ◇絵の中の言葉を使って文を書く。</p> <hr/> <p>1 単元の学習課題を確かめる。 2 絵の中の言葉を使って、文を書く。 3 学習を振り返り、1年生で習った漢字を確かめる。</p>	<p>【知・技】 ◎第1学年に担当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ</p> <p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語との続き方を確かめたりしている。B(1)ウ</p> <p>【主】 ・進んで第1学年に担当されている漢字を使い、学習課題に沿って文を書くようしている。</p>	
4	<p>としょかんへ行こう</p> <p>2時間(知技2) 教科書:上巻 P.26～29</p> <hr/> <p>既習事項との関連 学校の図書館がどのような場所なのかを理解する。(1年「としょかんはどんなところ」)</p>	<p>●図書館の本が内容によって分類・配架されていることを理解し、図書館を活用することができる。</p> <hr/> <p>1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 図書館のどの場所にどのような本が置かれているかを確かめる。 3 学んだことを使って図書館で本を探す。 4 学習を振り返り、図書館の利用方法についての理解を確かめる。</p>	<p>【知・技】 ◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(3)エ</p> <p>【主】 ・進んで図書館の配架の仕方について理解し、学習の見通しを持って、図書館を活用しようとしている。</p>	<p>・生活の中の読書に生かす。 ・他教科等で調べ学習をする際に、図書館を活用する。</p>

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
4	かん字の書き方 3時間(知技3) 教科書:上巻 P.32～33 ----- 既習事項との関連 字形に注意して漢字を書く (1下「かたちのにているかん字」)	●筆順と画数について理解して、漢字を書くことができる。 ----- 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 漢字の筆順と画数について知り、既習の漢字の筆順と画数を確かめる。 3 いろいろな漢字の筆順を比べて、気づいたことを話し合う。 4 学習を振り返り、漢字の筆順と画数についての理解を確かめる。	【知・技】 ◎第2学年までに配当されている漢字を読んだり、文や文章の中で使ったりしている。(1)エ 【主】 ・進んで漢字の筆順と画数について理解し、学習課題に沿って、筆順と画数に注意しながら書こうとしている。	
4	はたらく人に話を聞こう 4時間(話聞4) 教科書:上巻 P.34～37 ----- 【言葉の力】 だいたいなことを落とさずに聞く ----- 既習事項との関連 報告したいことをみんなの前で話したり、友達の話の聞いたりする。(1年上「はなしたいな ききたいな」)	●学校で働く人に話を聞いて、だいたいなことを聞き取ることができる。 ◇話の内容を捉える。 ----- 見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 取り組む 2 誰に何を聞くのかを決める。 3 話を聞く。 4 聞いたことを伝え合う。 振り返る 5 だいたいなことを聞き取るために、どのようなところに気をつけたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。	【知・技】 ・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。(1)ア 【思・判・表】 ◎「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想を持っている。 A(1)エ 【主】 ・進んでだいたいなことを落とさずに聞き、学習の見通しを持って話の内容を捉えようとしている。	・生活科で、働く人の話を聞く。
5	たんぼぼのひみつを見つけよう たんぼぼ 10時間(読10) 教科書:上巻 P.38～48 ----- 【言葉の力】 じゅんじよを考えて読む ----- 既習事項との関連 説明の文章を読む(1年「いろいろなふね」)	●順序を考えて読み、文章を読んで分かったことや考えたことを伝え合うことができる。 ◇文章を読んで分かったことや考えたことを伝え合う。C(2)ア ----- 見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 取り組む 2 「たんぼぼ」を読み、書いてあることを確かめる。 3 順序を考える。 4 見つけた秘密を伝え合う。 振り返る 5 どんな言葉を元に順序を考えてかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。	【知・技】 ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思・判・表】 ◎「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。C(1)ア ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結びつけて、感想を持っている。C(1)オ 【主】 ・進んで順序を考えて読み、学習の見通しを持って、文章を読んで分かったことや考えたことを伝え合おうとしている。	・生活科で、野菜の育て方の順序を確かめる。
5	かん字をつかおう 2 1時間(書1) 教科書:上巻 P.49	●1年生で習った漢字を使って、文を書くことができる。 ◇絵の中の言葉を使って文を書く。 ----- 1 単元の学習課題を確かめる。 2 絵の中の言葉を使って、文を書く。 3 学習を振り返り、1年生で習った漢字を確かめる。	【知・技】 ◎第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語との続き方を確かめたりしている。B(1)エ 【主】 ・進んで第1学年に配当されている漢字を使い、学習課題に沿って文を書こうとしている。	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
5	かんさつしたことを書こう 8時間(書8) 教科書:上巻 P.50～53 【言葉の力】 かんさつして書く 既習事項との関連 よく見て書く(1年「はっけんしたよ」)	●身の回りのものを観察して、「観察カード」を書くことができる。 ◇観察したことをカードに記録する。B(2)ア 見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 取り組む 2 観察する。 3 「観察カード」を書く。 振り返る 4 観察して気づいたことをどのように書いたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。	【知・技】 ・句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。(1)ウ 【思・判・表】 ◎「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア ・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。B(1)ウ 【主】 ・進んで身の回りのものを観察し、学習の見通しを持って、観察したことを記録する文章を書こうとしている。	・生活科で、身の回りの生き物を観察して書く。
5	かたかなで書くことば 3時間(知技3) 教科書:上巻 P.54～55 既習事項との関連 字形に注意して片仮名を書く(1下「かたかなのかたち」)	●片仮名で書く語の種類について理解し、文や文章の中で使うことができる。 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 片仮名で書く語の種類について理解する。 3 片仮名で書く語を集めて、それらを使って文を作り、交流する。 4 学習を振り返り、片仮名で書く言葉についての理解を確かめる。	【知・技】 ◎片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。(1)ウ 【主】 ・進んで、片仮名で書く語の種類について理解し、学習課題に沿って、文や文章の中で片仮名の語を使おうとしている。	
5 6	すきな場面を見つけよう 名前を見てちょうだい 11時間(読11) 教科書:上巻 P.56～72 【言葉の力】 場めに分ける 既習事項との関連 だれがどんなことをしたかをたしかめる(1年「サラダでげんき」)	●物語をいくつかの場面に分けて、好きな場面を見つけることができる。 ◇物語を読み、内容や感想を伝え合う。C(2)イ 見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 取り組む 2 「名前を見てちょうだい」を読み、物語の場面を確かめる。 3 好きな場面を見つける。 4 好きな場面を、友達に伝える。 振り返る 5 どの場面が好きだったか。その場面を選んだわけは何かを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。	【知・技】 ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読すること。(1)ク 【思・判・表】 ・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。C(1)イ ◎「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。C(1)エ 【主】 ・進んで物語を場面に分け、学習の見通しを持って物語を音読したり動作で表したりしようとしている。	・場面がどこで変わるか考えながら、お話を楽しんで読む。
6	かん字をつかおう 3 1時間(書1) 教科書:上巻 P.73	●1年生で習った漢字を使って、文を書くことができる。 ◇絵の中の言葉を使って文を書く。 1 単元の学習課題を確かめる。 2 絵の中の言葉を使って、文を書く。 3 学習を振り返り、1年生で習った漢字を確かめる。	【知・技】 ◎第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語との続き方を確かめたりしている。B(1)エ 【主】 ・進んで第1学年に配当されている漢字を使い、学習課題に沿って文を書こうとしている。	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
6	<p>じょうほうのとびら じゅんじょ</p> <p>3時間(書3) 教科書:上巻 P.74～75</p>	<p>●物事の順序について理解し、順序に気をつけて文や文章を書くことができる。 ◇順序に気をつけて話や文章を分かりやすく書く。</p> <hr/> <p>1 単元の学習の見通しを持つ。 2 順序にはさまざまな種類のものがあることを理解する。 3 課題に取り組み、順序に気をつけて文や文章を分かりやすく書く。 4 学習を振り返り、順序に気をつけて伝えることについての理解を確かめる。</p>	<p>【知・技】 ◎事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。B(1)イ</p> <p>【主】 ・進んで物事の順序について理解し、学習課題に沿って、順序に気をつけて文や文章を書こうとしている。</p>	<p>・発表や話し合いなどの場面で、伝えたいことを順序立てて分かりやすく伝える。</p>
6 7	<p>こんなことをしているよ</p> <p>10時間(書10) 教科書:上巻 P.76～81</p> <p>【言葉の力】 組み立てを考えて書く</p> <hr/> <p>既習事項との関連 順序に気をつけて書く。(1年「おもい出しかこう」)</p>	<p>●組み立てを考えて、経験したことを伝える文章を書くことができる。 ◇調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く。B(2)ア</p> <hr/> <p>見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 伝えたいことを考える。 3 組み立てを考えて文章を書く。 4 感想を伝え合う。</p> <p>振り返る 5 「始め」「中」「終わり」にどんなことを書いたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】 ・句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。(1)ウ</p> <p>【思・判・表】 ◎「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。B(1)イ</p> <p>【主】 ・進んで伝えたいことを書き出し、学習の見通しを持って、組み立てを考えて文章を書こうとしている。</p>	<p>・一年生に、町探検での出来事を説明する。</p>
7	<p>話そう、二年生のわたし</p> <p>5時間(話聞5) 教科書:上巻 P.82～85</p> <p>【言葉の力】 だいたいどころが伝わるように話す</p> <hr/> <p>既習事項との関連 声の大きさや話す速さに気をつける(1年「すきな きょうかを はなそう」)</p>	<p>●だいたいどころが伝わるように工夫して、心に残った出来事を話すことができる。 ◇伝えたいことを話す。A(2)ア</p> <hr/> <p>見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 出来事を思い出して、話すことを決める。 3 話す練習をする。 4 みんなの前で話す。</p> <p>振り返る 5 だいたいどころが伝わるようにどのような工夫をしたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】 ・姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。(1)イ</p> <p>【思・判・表】 ◎「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。A(1)ウ</p> <p>【主】 ・進んでだいたいどころが伝わるように練習し、学習の見通しを持って皆の前で話そうとしている。</p>	<p>・算数の授業で、考えたことを話す。</p>

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
7	<p>二つの文しょうをくらべよう どうぶつ園のかんばんと ガイドブック</p> <p>10時間(読10) 教科書:上巻 P.86～96</p> <p>【言葉の力】 説明の違いを考える</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 順序を考えて読む(2年「たんぼ」)</p>	<p>●二つの文章を比べて、それぞれのよいところを考えることができる。 ◇二つの文章を読み比べて考えたことを伝え合う。C(2)ア</p> <p>-----</p> <p>見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。</p> <p>取り組む 2 「どうぶつ園のかんばんとガイドブック」を読み、書かれていることを確かめる。 3 二つの文章を比べる。 4 考えたことを話し合う。</p> <p>振り返る 5 二つの文章の違いがそれぞれの役割とどう結びついていたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】 ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。C(1)ア ◎「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。C(1)ウ</p> <p>【主】 ・進んで文章を読み比べて考え、学習の見通しを持って考えたことを伝え合おうとしている。</p>	<p>・図鑑を読むときに、文章の中に説明の違いがないか、探して読む。</p>
7	<p>言いつたえられているお話を 知ろう</p> <p>4時間(読4) 教科書:上巻 P.98～99</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 昔話を楽しむ。(1下「むかしばなしをたのしもう」)</p>	<p>●神話や伝承の読み聞かせを聞き、内容や感想などを伝え合うことができる。 ◇神話・伝承の読み聞かせを聞いたり、本を読んだりして、内容や感想などを伝え合う。</p> <p>-----</p> <p>1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 「だいらぼうのお話」などの地域伝承の読み聞かせを聞き、感想などを話し合う。 3 「いなばの白うさぎのお話」などの神話の読み聞かせを聞き、感想などを話し合う。 4 神話や伝承などの本を読み、気に入った話を選んで、ペアやグループで読み聞かせや紹介をし合う。 5 単元の学習を振り返る。</p>	<p>【知・技】 ◎神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。(3)ア</p> <p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。C(1)カ</p> <p>【主】 ・進んで神話や伝承に親しみ、学習課題に沿って、内容や感想などを伝え合おうとしている。</p>	
7	<p>二年生の本だ な一本はあたら しいせかいへ の入り口</p> <p>4時間(知技4) 教科書:上巻 P.100～105</p>	<p>●読書に親しみ、多様な本を選んだり読んだりすることができる。</p> <p>-----</p> <p>1 単元の学習の見通しを持つ。 2 P104・105 の読書体験文を読む。 3 「二年生の本だ」や P104・105 で紹介している本などを手がかりにして、読みたい本を探して読む。</p>	<p>【知・技】 ◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(3)エ</p> <p>【主】 ・進んで読書に親しみ、今までの学習を生かして、多様な本を読もうとしている。</p>	<p>・生活の中の読書に生かす。</p>
9	<p>しを読む いろいろなおと のあめ空にぐ うんと手をの ばせ</p> <p>3時間(読3) 教科書:上巻 P.108～111</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読する。(1下「みみずのたいそう」)</p>	<p>●詩を音読し、詩に描かれていることを具体的に想像しながら言葉の響きやリズムを楽しむことができる。 ◇詩を音読する。C(2)イ</p> <p>-----</p> <p>1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 詩の構成や表現に着目し、詩に描かれている様子や心情について考え、友達と話し合う。 3 友達と話し合ったことを基に、詩を音読する。 4 単元の学習を振り返り、どのような表現からどのようなことを感じたり考えたりしたかを確かめる。</p>	<p>【知・技】 ・言葉の響き、リズムなどに気を付けて音読している。(1)ク</p> <p>【思・判・表】 ◎「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。C(1)エ</p> <p>【主】 ・進んで詩に描かれていることを具体的に想像しながら言葉の響きやリズムを楽しみ、学習の見通しを持って、詩を音読しようとしている。</p>	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
9	<p>みんなで話し合おう</p> <p>8時間(話聞8) 教科書:上巻 P.112~117</p> <p>【言葉の力】 ことばをつないで話し合おう</p> <hr/> <p>既習事項との関連 話を楽しくつなぐ(1年「なにに見えるかな」)</p>	<p>●おたがいの話をよく聞いて、ことばをつないで話し合うことができる。 ◇尋ねたり応答したりするなどして、グループで話し合う。A(2)イ</p> <hr/> <p>見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。</p> <p>取り組む 2 行ってみたいお話の世界を選ぶ。 3 友達と話し合う。 4 話した感想を伝え合う。</p> <p>振り返る 5 言葉をつなげるために、どんなことに気をつけて話し合ったかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】 ・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。(1)ア</p> <p>【思・判・表】 ◎「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。A(1)オ</p> <p>【主】 ・進んで互いの話をよく聞いて、ことばをつなぎながら、学習の見通しを持って尋ねたり応答したりするなどして、グループで話し合おうとしている。</p>	<p>・町探検で見つけたことを話し合う。</p>
9	<p>そうぞうをふくらませて読もう</p> <p>ニャーゴ</p> <p>12時間(読12) 教科書:上巻 P.118~130</p> <p>【言葉の力】 人ぶつのようなすをそうぞうして読む</p> <hr/> <p>既習事項との関連 人ぶつのようなすをおもいうかべる(1年「おとうとねずみチロ」)</p>	<p>●人物の様子を想像して、音読で表すことができる。 ◇物語を音読する。C(2)イ</p> <hr/> <p>見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。</p> <p>取り組む 2 「ニャーゴ」を読み、どんな出来事が起きたか確かめる。 3 登場人物の行動や会話からそのわけを考える。 4 想像したことを音読で表す。</p> <p>振り返る 5 人物の様子を想像して、どのように音読したかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】 ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。(1)ク</p> <p>【思・判・表】 ◎「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。C(1)エ</p> <p>【主】 ・進んで人物の様子を想像し、音読で表そうとしている。</p>	<p>・人物の様子が分かる言葉を見つけながら読み、物語を楽しむ。</p>
10	<p>かん字をつかおう 4</p> <p>1時間(書1) 教科書:上巻 P.131</p>	<p>●1年生で習った漢字を使って、文を書くことができる。 ◇絵の中の言葉を使って文を書く。</p> <hr/> <p>1 単元の学習課題を確かめる。 2 絵の中の言葉を使って、文を書く。 3 学習を振り返り、1年生で習った漢字を確かめる。</p>	<p>【知・技】 ◎第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ</p> <p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語との続き方を確かめたりしている。B(1)エ</p> <p>【主】 ・進んで第1学年に配当されている漢字を使い、学習課題に沿って文を書くようとしている。</p>	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
10	<p>もの名前をあらわすことば</p> <p>3時間(書3) 教科書:上巻 P.132～133</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 意味による語句のまとまりや上位語・下位語を理解して、語彙を豊かにする(1年「まとめてよぶことば」)</p>	<p>●物の名前を表す言葉について理解し、語彙を豊かにすることができる。</p> <p>-----</p> <p>1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。</p> <p>2 意味によるまとまりを考えながら、身近な物の名前を表す言葉を集める。「ことばの広場」を活用する。</p> <p>3 集めた言葉を使って文を作る。</p> <p>4 学習を振り返り、物の名前を表す言葉についての理解を確かめる。</p>	<p>【知・技】 ◎身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。(1)オ</p> <p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。B(1)ウ</p> <p>【主】 ・進んで物の名前を表す語句の量を増し、意味によるまとまりを意識しながら、学習課題に沿って、話や文章の中で使おうとしている。</p>	
10	<p>絵を見てお話を書こう</p> <p>10時間(書10) 教科書:上巻 P.134～139</p> <p>【言葉の力】 場面のつながりを考えて書く</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 人物を考えてお話を書く。(1年「おはなしを かこう」)</p>	<p>●内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫して、簡単な物語を書く。B(2)ウ</p> <p>◇簡単な物語を書く。B(2)ウ</p> <p>-----</p> <p>見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。</p> <p>取り組む 2 絵を見て想像する。 3 お話を考えて書く。 4 お話を読み合う。</p> <p>振り返る 5 場面がつながるようにどのようなことを工夫してお話を書いたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】 ・長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。(1)ウ</p> <p>【思・判・表】 ◎「書くこと」において自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。B(1)イ</p> <p>・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。B(1)ウ</p> <p>【主】 ・進んでお話の場面のつながりを考え、学習の見通しを持って、想像を広げて物語を書くようとしている。</p>	<p>・困ったことが起きたとき、お話の人物ならどうするかを想像する。</p>
10	<p>ビーバーのひみつをつたえよう</p> <p>ビーバーの大工事</p> <p>11時間(読11) 教科書:下巻 P.8～20</p> <p>【言葉の力】 だいたいな言葉を探しながら読む</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 順序を考えて読む。(2年「たんぼぼ」)</p>	<p>●読んで見つけたビーバーの秘密を伝え合うことができる。</p> <p>◇説明的な文章を読み、分かったことや考えたことを伝える。C(2)ア</p> <p>-----</p> <p>見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。</p> <p>取り組む 2 「ビーバーの大工事」を読み、何が書いてあったか、確かめる。 3 ビーバーの秘密を見つける。 4 見つけた秘密を伝え合う。</p> <p>振り返る 5 伝えたい秘密をまとめるときどのような言葉を元に考えたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】 ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思・判・表】 ◎「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。C(1)ウ</p> <p>・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。C(1)カ</p> <p>【主】 ・進んでだいたいな言葉を探しながら読み、学習の見通しを持って考えたことを伝え合おうとしている。</p>	<p>・生活科で、知りたいことを調べるための本を読む。</p>

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
11	<p>じょうほうのとびら 本でしらべる</p> <p>3時間(書2読1) 教科書:下巻 P.21～23</p>	<p>●知りたいことを本で調べる方法を理解し、調べて分かったことを書くことができる。 ◇学校図書館を利用し、図鑑などから情報を得て、分かったことなどをまとめて説明する。C(2)ウ</p> <hr/> <p>1 単元の学習の見通しを持つ。 2 知りたいことについて本で調べる方法を理解する。 3 課題に取り組み、好きな動物について知りたいことや調べて分かったことを書く。 4 学習を振り返り、知りたいことについて本で調べることの理解を確かめる。</p>	<p>【知・技】 ◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア ・読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(3)エ</p> <p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア ・「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。C(1)ア</p> <p>【主】 ・進んで知りたいことについて本で調べる方法を知り、学習課題に沿って、調べて分かったことを書こうとしている。</p>	<p>・ふだんの生活の中で、分からないことや知りたいことを、図鑑などの本を使って調べる。</p>
11	<p>「どうぶつカード」を作ろう</p> <p>8時間(書8) 教科書:下巻 P.24～28</p> <p>【言葉の力】 調べたことをわかりやすく書く</p> <hr/> <p>既習事項との関連 しりたいことをしらべて書く(1年『『のりものカード』をつくらう』)</p>	<p>●調べたことをわかりやすくカードにまとめることができる。 ◇調べたことを「どうぶつカード」にまとめる。B(2)ア</p> <hr/> <p>見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。</p> <p>取り組む 2 調べる動物を決める。 3 調べたことを整理する。 4 「どうぶつカード」を作る。</p> <p>振り返る 5 調べたことをまとめるとき、どんなことに気をつけたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】 ・長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。(1)ウ ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思・判・表】 ◎「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア ・「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけている。B(1)オ</p> <p>【主】 ・進んで知りたいことを調べ、学習の見通しを持って、「どうぶつカード」にまとめようとしている。</p>	<p>・生活科で、調べて分かったことを伝える。</p>
11	<p>主語とじゅつ語</p> <p>3時間(知技3) 教科書:下巻 P.30～31</p> <hr/> <p>既習事項との関連 主語と述語のある文を作る。(1上「ぶんをつくらう」「は」「へ」をつかおう、1下「ことばをあつめよう」)</p>	<p>●主語と述語について理解することができる。</p> <hr/> <p>1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 文の中の主語と述語について理解する。 3 ささまざまな文の主語と述語を確かめる。 4 学習を振り返り、主語と述語についての理解を確かめる。</p>	<p>【知・技】 ◎文の中における主語と述語との関係に気づいている。(1)カ</p> <p>【主】 ・進んで文の中の主語と述語の関係に着目し、学習課題に沿って、さまざまな文の主語と述語の関係を確認しようとしている。</p>	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
11	<p>町で見つけたことを話そう</p> <p>7時間(話聞7) 教科書:下巻 P.32～38</p> <p>【言葉の力】 組み立てを考えて話す</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 出来事の順に話す(1年「小学校の ことを しょうかいしよう」)</p>	<p>●町で見つけたことについて、組み立てを考えて話すことができる。</p> <p>◇報告したいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする。A(2)ア</p> <p>-----</p> <p>見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。</p> <p>取り組む 2 話すことを考える。 3 組み立てを考える。 4 みんなの前で話す。</p> <p>振り返る 5 聞く人に伝わるようにどのような組み立てで話したかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。(1)オ</p> <p>【思・判・表】</p> <p>◎「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。A(1)イ</p> <p>【主】</p> <p>・進んで組み立てを考え、学習の見通しを持って報告したいことを話そうとしている。</p>	<p>・生活科で、町について聞いてきたことをみんなに話す。</p>
11	<p>かたかなをつかおう</p> <p>1時間(書1) 教科書:下巻 P.39</p>	<p>●片仮名の使い方を理解することができる。</p> <p>◇片仮名で書くべき言葉を見つけて書く。</p> <p>-----</p> <p>1 単元の学習課題を確かめる。 2 手紙を読んで、かたかなで書くべき言葉を見つけて書く。 3 学習を振り返り、かたかなの書き方を確かめる。</p>	<p>【知・技】</p> <p>◎平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。(1)ウ</p> <p>【思・判・表】</p> <p>・「書くこと」において、文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語との続き方を確かめたりしている。B(1)エ</p> <p>【主】</p> <p>・進んで片仮名を使い、学習課題に沿って文を書こうとしている。</p>	
11	<p>なかまになることば</p> <p>3時間(知技3) 教科書:下巻 P.40～41</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 仲間になる言葉や、それらをまとめて呼ぶ言葉について理解する。(1下「まとめてよぶことば」)</p>	<p>●仲間になる言葉について理解し、語彙を豊かにすることができる。</p> <p>-----</p> <p>1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 仲間になる言葉について理解する。 3 言葉を仲間にもとめたり、仲間になる言葉を探したりする。 4 学習を振り返り、仲間になる言葉についての理解を確かめる。</p>	<p>【知・技】</p> <p>◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。(1)オ</p> <p>【主】</p> <p>・進んで仲間になる言葉について理解し、学習課題に沿って言葉を集めたり分類したりしようとしている。</p>	
12	<p>「ありがとう」をつたえよう</p> <p>6時間(書6) 教科書:下巻 P.42～45</p> <p>【言葉の力】 手紙を書く</p>	<p>●感謝の気持ちを相手に伝えるために必要なことを考え、言葉の使い方や間違いに気づいて、手紙を書くことができる。</p> <p>◇感謝の気持ちを伝える手紙を書く。B(2)イ</p> <p>-----</p> <p>見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。</p> <p>取り組む 2 手紙に書くことを考える。 3 手紙を書く。</p> <p>振り返る 4 気持ちを伝えるためにどのようなことを書いたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】</p> <p>・丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れている。(1)キ</p> <p>【思・判・表】</p> <p>◎「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア</p> <p>・「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。B(1)エ</p> <p>【主】</p> <p>・進んで書くことを考え、学習の見通しを持って、気持ちが伝わるように手紙を書こうとしている。</p>	<p>・一年間を振り返り、お礼の気持ちを手紙で伝える。</p>

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
12	むかし話をしようかいしよ う かさこじぞう 12時間(読12) 教科書:下巻 P.46～62 【言葉の力】 むかし話のおもしろさを見つ ける ----- 既習事項との関連 おはなしのすきなところを見 つける(1年「スイミー」)	●昔話のおもしろさを見つけて、紹介カードを 書くことができる。 ◇物語を読んで、内容や感想などを伝え合う。 C(2)イ ----- 見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通し を持つ。 取り組む 2 「かさこじぞう」を読み、起こった出来事を 確かめる。 3 昔話のおもしろいところを見つける。 4 昔話のおもしろいところを伝え合う。 振り返る 5 昔話のおもしろいところを紹介し合って、 どんなおもしろさを見つけたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、こ れからの学習に生かそうという意識を高め る。	【知・技】 ・昔話や神話・伝承などの読み聞かせ を聞くなどして、我が国の伝統的な言 語文化に親しんでいる。(3)ア ・読書に親しみ、いろいろな本があるこ とを知っている。(3)エ 【思・判・表】 ◎「読むこと」において、登場人物の気持 ちの変化や性格、情景について、場 面の移り変わり結び付けて具体的に 想像している。C(1)エ 【主】 ・進んで昔話のおもしろさを見つけ、学 習の見通しを持って、おもしろさを友 達と伝え合おうとしている。	・読んでおもしろ かった昔話 を、友達に紹 介する。
12	かん字をつかおう 5 1 時間(書1) 教科書:下巻 P.63	●1年生で習った漢字を使って、文を書くこと ができる。 ◇絵の中の言葉を使って文を書く。 ----- 1 単元の学習課題を確かめる。 2 絵の中の言葉を使って、文を書く。 3 学習を振り返り、1年生で習った漢字を確 かめる。	【知・技】 ◎第1学年に配当されている漢字を書 き、文や文章の中で使っている。(1)エ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、文章を読み返す 習慣をつけるとともに、間違いを正し たり、語と語との続き方を確かめたりし ている。B(1)エ 【主】 ・進んで第1学年に配当されている漢 字を使い、学習課題に沿って文を書 こうとしている。	
12	人がすることをあらわす ことば 3時間(書3) 教科書:下巻 P.64～65 ----- 既習事項との関連 言葉を集めて文を作る(1下 「ことばをあつめよう」)、主語 と述語との関係を理解する(2 下「主語とじゅつ語」)	●人がすることを表す言葉について理解し、 語彙を豊かにすることができる。 ----- 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通し を持つ。 2 人がすることを表す言葉について理解す る。 3 教科書の絵を見て、人を主語にしたいろ いろな文を作る。 4 学習を振り返り、人がすることを表す言葉 についての理解を確かめる。	【知・技】 ◎身近なことを表す語句の量を増し、話 や文章の中で使うとともに、言葉には 意味による語句のまとまりがあることに 気づき、語彙を豊かにしている。(1)オ ・文の中の主語と述語との関係に気づ いている。(1)カ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、語と語との続き方 に注意しながら、内容のまとまりが分 かるように書き表し方を工夫している。 B(1)ウ 【主】 ・進んで、人がすることを表す語句の量 を増し、意味によるまとまりを意識しな がら、学習課題に沿って、話や文章 の中で使おうとしている。	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
12	<p>本の中の友だち</p> <p>6時間(読6) 教科書:下巻 P.66～69</p> <hr/> <p>既習事項との関連 これまでに読んだ本を振り返る(2上「としょかんへ行こう」2上「二年生の本だな」)</p> <p>人物の様子を想像する(2上「ニャーゴ」)</p>	<p>●好きな登場人物について友達と伝え合うことを通して、多様な本があることを知り、読書に親しむことができる。</p> <p>◇本を読み、自分の好きな登場人物について伝え合う。C(2)イ</p> <hr/> <ol style="list-style-type: none"> 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 今までに読んだ本を振り返り、友達になってみたい人物を選ぶ。 3 カードを書く。 4 カードをもとに本を紹介し合う。 5 学習を振り返り、友達が紹介した本やP.68～69で紹介している本などを手がかりにして、これからの読書生活に生かそうという意識を高める。 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。(3)エ <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有している。C(1)カ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで読書に親しみ、今までの学習を生かして、好きな登場人物について、友達と伝え合おうとしている。 	
1	<p>かん字をつかおう 6</p> <p>1時間(書1) 教科書:下巻 P.70</p>	<p>●1年生で習った漢字を使って、文を書くことができる。</p> <p>◇絵の中の言葉を使って文を書く。</p> <hr/> <ol style="list-style-type: none"> 1 単元の学習課題を確かめる。 2 絵の中の言葉を使って、文を書く。 3 学習を振り返り、1年生で習った漢字を確かめる。 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語との続き方を確かめたりしている。B(1)エ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで第1学年に配当されている漢字を使い、学習課題に沿って文を書こうとしている。 	
1	<p>むかしからつたわる言い方</p> <p>6時間(読6) 教科書:下巻 P.72～77</p>	<p>●易しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。</p> <p>◇「いろはかるた」「きょう土かるた」にならって、かるたを作る。</p> <hr/> <ol style="list-style-type: none"> 1 単元の学習の見通しを持つ。 2 「十二支」「小の月」について知り、音読する。 3 「いろは歌」「いろはかるた」「郷土かるた」について知り、かるたを作る。 4 単元の学習を振り返り、昔から伝わる言い方について学んだことの理解を確かめる。 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。(3)イ <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで昔から伝わる言い方について知り、学習課題に沿って、言葉の響きやリズムに親しもうとしている。 	
1	<p>かん字の読み方とおくりがな</p> <p>3時間(知技3) 教科書:下巻 P.78～79</p> <hr/> <p>既習事項との関連 漢字を含む言葉を読んだり書いたりする(2上・2下「かん字をつかおう」)</p>	<p>●漢字の読み方と送り仮名について理解し、漢字を正しく書いたり読んだりすることができる。</p> <hr/> <ol style="list-style-type: none"> 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 複数の読み方を持つ漢字の送り仮名を確かめる。 3 練習問題に取り組み、漢字の読み方と送り仮名について理解する。 4 学習を振り返り、漢字の読み方と送り仮名についての理解を確かめる。 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎第2学年までに配当されている漢字を読んだり、文や文章の中で使ったりしている。(1)エ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで漢字の読み方と送り仮名について理解し、漢字を書いたり読んだりしようとしている。 	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
1	<p>あなのやくわりを考えよう あなのやくわり</p> <p>9時間(読9) 教科書:下巻 P.80～90</p> <p>【言葉の力】 知っていることと結びつけて読む</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 比べて読む(1下「子どもをまもるどうぶつたち」)</p>	<p>●書かれていた穴の役割をもとに、身の回りの穴について考えることができる。 ◇説明的な文章を読み、分かったことや考えたことを伝える。C(2)ア</p> <p>-----</p> <p>見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。</p> <p>取り組む 2 「あなの やくわり」を読み、書かれていることを確かめる。 3 穴の役割を考える。 4 身の回りの穴の役割を見つける。</p> <p>振り返る 5 知っていることと結びつけることでどんなことを考えたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】 ・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。(1)ア</p> <p>【思・判・表】 ◎「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想を持っている。C(1)オ ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。C(1)カ</p> <p>【主】 ・進んで知っていることと結び付けて文章を読み、学習の見通しを持って考えたことをまとめようとしている。</p>	<p>・身近な物事について説明している本を読む。</p>
2	<p>かん字をつかおう 7</p> <p>1時間(書1) 教科書:下巻 P.91</p>	<p>●1年生で習った漢字を使って、文を書くことができる。 ◇絵の中の言葉を使って文を書く。</p> <p>-----</p> <p>1 単元の学習課題を確かめる。 2 絵の中の言葉を使って、文を書く。 3 学習を振り返り、1年生で習った漢字を確かめる。</p>	<p>【知・技】 ◎第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ</p> <p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語との続き方を確かめたりしている。B(1)エ</p> <p>【主】 ・進んで第1学年に配当されている漢字を使い、学習課題に沿って文を書こうとしている。</p>	
2	<p>はんたいのいみのことば</p> <p>2時間(知技2) 教科書:上巻 P.92～93</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 仲間になる言葉について理解する(2下「なかまになることば」)</p>	<p>●反対の意味の言葉について理解し、語彙を豊かにすることができる。</p> <p>-----</p> <p>1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 反対の意味の言葉(対義語)について理解する。 3 いろいろな反対の意味の言葉を考える。 4 学習を振り返り、反対の意味の言葉についての理解を確かめる。</p>	<p>【知・技】 ◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。(1)オ</p> <p>【主】 ・進んで対義語について理解し、学習課題に沿って、言葉を集めて話や文章の中で使おうとしている。</p>	
2	<p>じょうほうのとびら 同じところ、ちがうところ</p> <p>3時間(書3) 教科書:下巻 P.94～95</p>	<p>●似ているものを比べる方法を理解し、身の回りの似ているものの同じところと違うところを表に整理することができる。 ◇似ているものの同じところ、違うところを表に整理する。</p> <p>-----</p> <p>1 単元の学習の見通しを持つ。 2 似ているものを比べる方法を理解する。 3 課題に取り組み、身の回りの似ているものの同じところと違うところを表に整理する。 4 学習を振り返り、情報の同じところと違うところを比べることについての理解を確かめる。</p>	<p>【知・技】 ◎共通、相違など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア</p> <p>【主】 ・進んで似ているものを比べる方法を理解し、学習課題に沿って、似ているものの同じところと違うところを表に整理しようとしている。</p>	<p>・生活科で見つけた似ている植物などを、同じところと違うところに着目して比べる。</p>

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
2	<p>くらべてつたえよう</p> <p>8時間(書8) 教科書:下巻 P.96～101</p> <p>【言葉の力】 説明する文章を書く</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 組み立てを考えて書く(2年 「こんなことをしているよ」)</p>	<p>●同じところ違うところに気をつけて、説明する文章を書くことができる。 ◇物の特徴について説明する文章を書く。</p> <p>-----</p> <p>見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。</p> <p>取り組む 2 伝えることを決める。 3 伝えることを整理する。 4 文章を書く。 5 文章を読み合う。</p> <p>振り返る 6 物の特徴をはっきりさせて説明するためにどんな工夫をしたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】 ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思・判・表】 ◎「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。B(1)ウ ・「書くこと」において、文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。B(1)エ</p> <p>【主】 ・進んで同じところ違うところに気をつけて、学習の見通しを持って、物の特徴を説明する文章を書こうとしている。</p>	<p>・物の特徴を分かりやすく説明する。</p>
2	<p>声に出してみよう</p> <p>3時間(知技3) 教科書:下巻 P.102～103</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 声の大きさや話す速さを工夫して話す(2上「話そう、二年生のわたし」)</p>	<p>●音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いに気づいて、発声・発音することができる。</p> <p>-----</p> <p>1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 いくつかの言葉を声に出して言い、音節(拍)を確かめる。 3 「あめ」などの語を声に出して、アクセントによる語の意味の違いを確かめる。 4 学習を振り返り、音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いについての理解を確かめる。</p>	<p>【知・技】 ◎音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気づくとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。(1)イ</p> <p>【主】 ・進んで音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどについて理解し、声に出して確かめようとしている。</p>	
2	<p>たからものをしようかいしよう</p> <p>8時間(話聞8) 教科書:下巻 P.104～109</p> <p>【言葉の力】 伝えたいことを選んで話す</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 だいたいなところがつたわるように話す(2上「話そう、二年生のわたし」)</p>	<p>●伝えたいことを選んで、宝物の紹介をすることができる。 ◇紹介したいことを話す。A(2)ア</p> <p>-----</p> <p>見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。</p> <p>取り組む 2 話すことを集める。 3 話すことを選ぶ。 4 話す練習をする。 5 みんなの前で話す。</p> <p>振り返る 6 宝物を紹介するためにどんなことを選んで話したかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】 ・姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。(1)イ</p> <p>【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。A(1)ア</p> <p>【主】 ・進んで伝えたいことを選び、学習の見通しを持って、自分の宝物を紹介しようとしている。</p>	<p>・二年生の思い出を家の人に話す。</p>
3	<p>ことばあそびを楽しもう</p> <p>6時間(書6) 教科書:上巻 P.110～113</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 言葉遊びを通して語彙を豊かにする(1下「ことばであそぼう」)</p>	<p>●さまざまな言葉遊びを知り、身の回りの言葉を使って楽しむことができる。 ◇言葉遊びをしたり、自分で考えて書いたりする。</p> <p>-----</p> <p>1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 さまざまな言葉遊びを知り、身近な言葉を使って楽しむ。 3 学習を振り返り、言葉遊びを通して言葉の豊かさについて気づいたことを確かめる。</p>	<p>【知・技】 ◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。(1)オ ・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。(3)イ</p> <p>【主】 ・進んで身近なことを表す語句の量を増し、学習課題に沿って、言葉遊びを楽しもうとしている。</p>	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
3	かんそうをつたえ合おう お手紙 12時間(読12) 教科書:下巻 P.114～130 【言葉の力】 自分とくらべて読む ----- 既習事項との関連 お話の好きなところを見つけ る。(1年「スイミー」)	●物語を読んで、自分と比べて感想を持ち、 友達と伝え合うことができる。 ◇物語を読んだ感想を伝え合う。C(2)イ ----- 見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通し を持つ。 取り組む 2 「お手紙」を読み、場面と人物の様子を確 かめる。 3 二つの場面を比べる。 4 感想を伝え合う。 振り返る 5 物語を読んでどんな感想を持ったか、友 達の感想を聞いてどう思ったかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これ からの学習に生かそうという意識を高め る。	【知・技】 ・文の中における主語と述語との関係 に気づいている。(1)カ 【思・判・表】 ◎「読むこと」において、文章の内容と自 分の体験とを結び付けて、感想を持 っている。C(1)オ ・「読むこと」において、文章を読んで感 じたことや分かったことを共有してい る。C(1)カ 【主】 ・進んで自分と比べて読み、学習の見 通しを持って感想を伝え合おうとして いる。	・いろいろなお 話を読むとき に、自分だっ たらどうするか 想像する。
3	かん字をつかおう 8 1時間(書1) 教科書:下巻 P.131	●1年生で習った漢字を使って、文を書くこと ができる。 ◇絵の中の言葉を使って文を書く。 ----- 1 単元の学習課題を確かめる。 2 絵の中の言葉を使って、文を書く。 3 学習を振り返り、1年生で習った漢字を確 かめる。	【知・技】 ◎第1学年に配当されている漢字を書 き、文や文章の中で使っている。(1)エ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、文章を読み返す 習慣をつけるとともに、間違いを正し たり、語と語との続き方を確かめたりし ている。B(1)エ 【主】 ・進んで第1学年に配当されている漢 字を使い、学習課題に沿って文を書 こうとしている。	
3	にたいみのことば 3時間(知技3) 教科書:上巻 P.132～133 ----- 既習事項との関連 対義語について理解する(2 年「はんたいのいみのこと ば」)	●似た意味の言葉について理解し、語彙を豊 かにすることができる。 ----- 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通し を持つ。 2 似た意味の言葉について理解する。 3 似た意味の言葉を集めたり違いを考えたり する。 4 学習を振り返り、似た意味の言葉につい ての理解を確かめる。	【知・技】 ◎身近なことを表す語句の量を増し、話 や文章の中で使うとともに、言葉には 意味による語句のまとまりがあることに 気づき、語彙を豊かにしている。(1)オ 【主】 ・進んで同義語や類義語について理解 し、学習課題に沿って、同義語や類 義語を集めたり違いを考えたりしよう としている。	
3	ことばのアルバム 7時間(書7) 教科書:下巻 P.134～137 【言葉の力】 文しょうのよいところを見つけ る ----- 既習事項との関連 書いた文章を読み返す。(1 下「一年かんのおもいでブック」)	●一年間を振り返り、「ことばのアルバム」を作 ることができる。 ◇いちばん心に残っている出来事を文章にま とめる。 ----- 見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通し を持つ。 取り組む 2 「ことばのアルバム」を作る。 3 文章を読み合う。 振り返る 4 文章のどんなところによさを見つけたかを 振り返り、身につけた「言葉の力」を確か め、これからの学習に生かそうという意識 を高める。	【知・技】 ・身近なことを表す語句の量を増し、話 や文章の中で使う、語彙を豊かにして いる。(1)オ 【思・判・表】 ◎「書くこと」において、文章に対する感 想を伝え合い、自分の文章の内容や 表現のよいところを見つけている。 B(1)オ 【主】 ・進んで一年間を振り返って自分の文 章のよいところを見つけ、学習の見通 しを持って、「言葉のアルバム」を作ろ うとしている。	・友達と文章を 読み合うとき に、よいところ を伝える。